

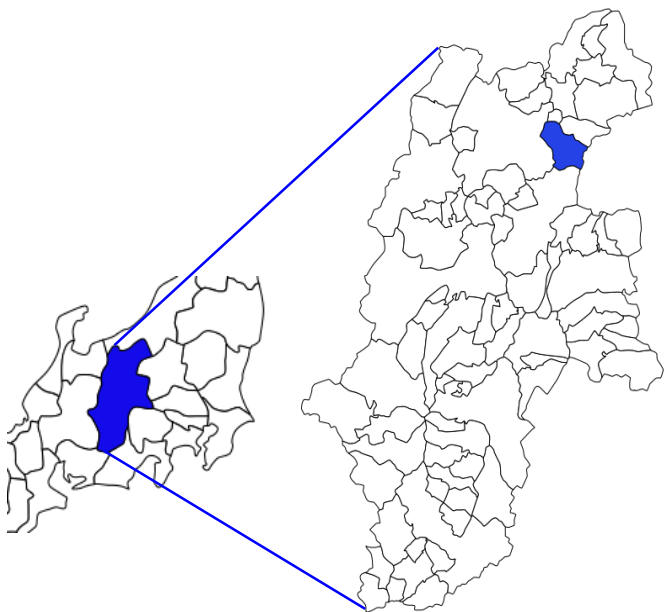


総務省

「災害時における放送の確保に関する分科会」

いきいきすざか

# 災害時における 須坂市とGoolight社との連携



## 車

東北・北関東方面  
 東北自動車道  
 北関東自動車道  
 東京方面  
 関越自動車道 - 藤岡JCT - 上信越自動車道 - 上田菅平IC - R144 - 峰の原高原  
 中央自動車道 - 岡谷JCT - 長野道 - 更埴JCT - 須坂長野東IC - **須坂**  
 大阪・名古屋方面  
 名神・中央自動車道  
 金沢・新潟方面  
 北自動車道・上越JCT - 須坂長野東IC

## 鉄道

東京方面  
 東京 新幹線かがやき●1時間22分  
 大阪・名古屋方面  
 名古屋 中央西線●特急3時間  
 金沢方面  
 金沢 新幹線かがやき●1時間05分  
 上越妙高 新幹線はくたか●23分  
 長野 — 長野電鉄電車20分  
**須坂**

## 空路

札幌・福岡各地 — 松本空港 — 松本  
 バス  
 バスはJR

2020年4月3日

長野県須坂市長 三木 正夫

# 災害に対する須坂市の取組みについて

## ■災害時応援協定の締結について

現在、須坂市では災害時応援協定を計64の企業・自治体と締結している。そのうち、広報関係では、以下の3団体と締結

- ・株式会社Goolight (ケーブルテレビ)
- ・株式会社ながのコミュニティ放送 (コミュニティFM)
- ・JARL長野県支部 須坂クラブ (アマチュア無線)

### 【災害時の連携】

- ①災害対策法の規定により、通知・警報が必要な時
- ②災害の発生防止または災害応急対策を実施する時

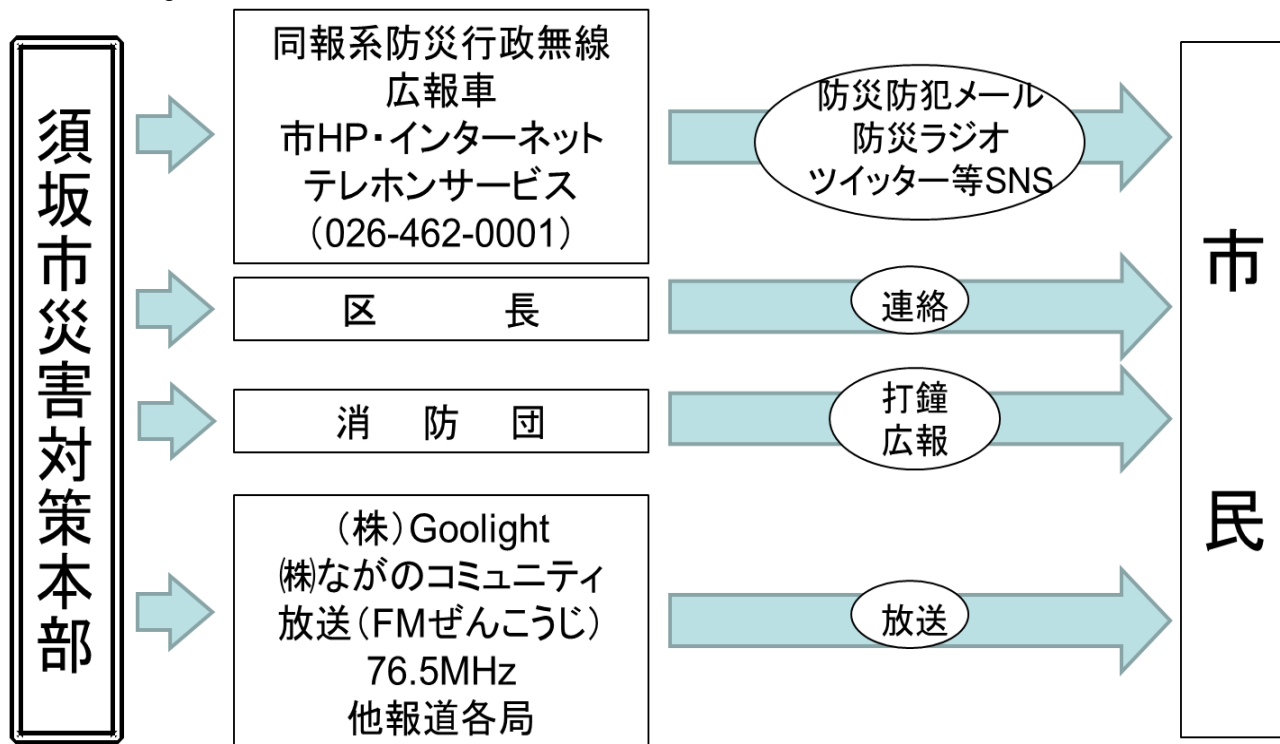


**須坂市より放送の要請を行う**

# 災害に対する須坂市の取組みについて

## ■災害発生時の地域住民への情報伝達について

洪水予報、土砂災害警戒情報、避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急)は、下記の図のような経路で市民に伝達される。



# 情報伝達手段としての光回線の必要性について

## <須坂市の現状>

■ Goolight社にて2018年、市内全域で光回線の整備が完了

- ・地方と都市部との情報格差の是正
- ・適正な競争価格(低廉なインフラ網の確保)に寄与
- ・4K8K放送や超高速インターネットサービスの提供が可能

⇒地域住民のデジタルデバイドの解消

■ 公共機関にネットワークはすべてGoolight社の光専用線を使用

■ 災害対策本部との光専用線の整備



ケーブルテレビ事業者の光回線は必須のインフラ

# もう一つ情報伝達手段である共聴施設について

## <須坂市の状況>

■以前は、大小合わせて10以上の共聴施設が存在

⇒現在は、すべての共聴施設がGoolight社の傘下となっている

## <一般的には・・・>

■全国各地に多くの共聴施設が存在

⇒施設の老朽化が大きな課題



ケーブルテレビでの救済だけでなく、  
公的支援による施設整備などが必要なケースも

# 災害時のGoolight社との連携について

## <情報提供>

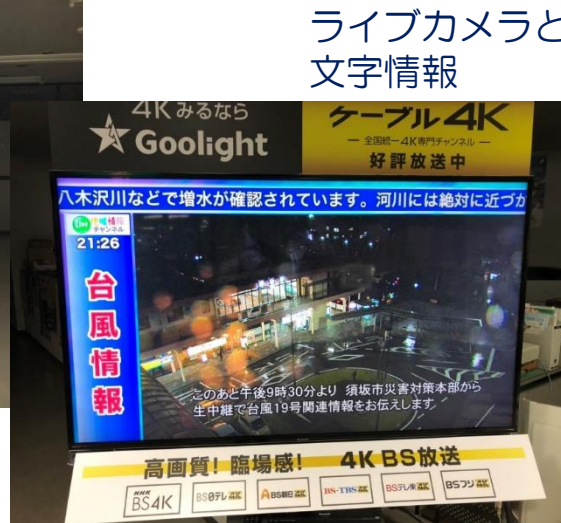
■災害対策本部からの生中継の実施

■地域情報チャンネルでの24時間情報配信  
(文字情報+河川ライブカメラ)

■Facebook等SNSでの情報配信



災害対策本部から  
緊急生放送



Facebookでの配信



# 災害時のGoolight社との連携について

## <避難所支援>

■指定避難所に指定されている市内全ての小中学校の  
体育館に放送通信回線と端末機器を設置・提供

■避難所に無料Wi-Fiを設置



無料Wi-Fi



災害支援情報端末とテレビの設置・提供



# 河川カメラ等ライブカメラの必要性について

令和元年10月東日本台風を経験して…

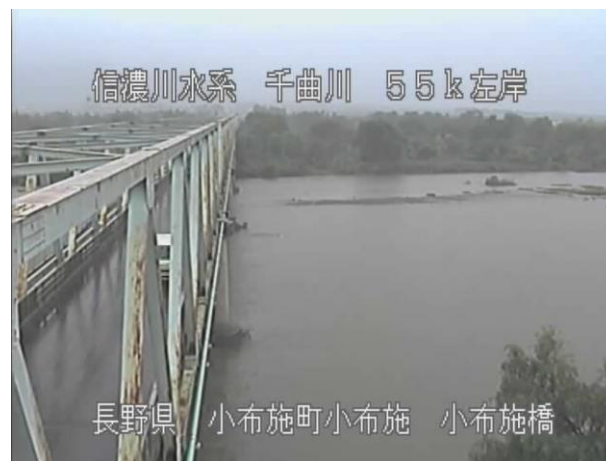
■地域住民に河川の状況をリアルタイムに伝えることが重要

⇒Goolight社の「地域情報チャンネル」にてライブカメラ映像とともに文字情報を放映

■国交省河川カメラの映像が鮮明ではなかった

⇒地域住民によりの確な情報提供を行うためにも、映像の高画質化が必要

現状の河川カメラはSD画質







～参考～

# 地元ケーブルテレビGoolight社の 災害報道と情報端末設置

# 株式会社Goolight 会社概要

## <サービスエリア>

- ◆長野県須坂市
- ◆長野県小布施町
- ◆長野県高山村

■本 社 長野県須坂市北横町1295-1 シルキービル  
TEL:026-246-1222 mail:info@goolight.co.jp

- 代表取締役社長 丸山康熙
- 開 局 平成1年8月1日
- 資本金 1億9,600万円
- 対象世帯数 26,000世帯
- サービス内容

- ・多チャンネルテレビ放送 ・高速インターネット(光コラボ)
- ・プライマリー電話 ・MVNO ・シティプロモーション事業 ・電気事業



須坂市 生産量日本一を誇るナガノパープル



小布施町 葛飾北斎大鳳凰図



高山村 日本で最も美しい村連合に加盟

# 令和元年10月東日本台風の被害

＜人的被害＞ 死亡5人 重傷7人 軽傷135人

＜住宅被害＞ 全壊・半壊・一部損壊・床下浸水の合計

長野県全体	8163
長野市	3620
上田市	321
須坂市	350
飯山市	626
千曲市	1677
小布施町	57
高山村	1

※枠＝当社エリア



(2019年11月末現在  
長野県災害対策本部まとめ)

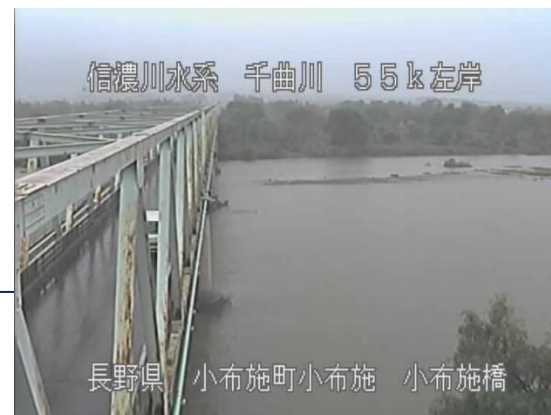
# 令和元年10月東日本台風ドキュメント

## ■ 10月12日（土）

- 10:56 大雨洪水警報発表
- 15:00 須坂市の一部地域に避難準備・高齢者等避難開始を発令
- 15:30 気象庁が長野県内11市町に長野県初の大雨特別警報を発表
- 18:10 大雨特別警報発表【須坂市・小布施町】
- 21:34 長野県が陸上自衛隊に災害派遣を要請
- 23:45 須坂市の一部地域に避難指示発令
- 23:50 氾濫警戒レベル5【小布施町】

## ■ 10月13日（日）

- 0:05 氾濫警戒レベル5【須坂市】
- 1:42 須坂市北相之島町で千曲川越水
- 2:04 小布施町で千曲川越水
- 5:30 長野市穂保で千曲川の堤防決壊を確認
- 7:54 下水道終末処理場（クリーンピア千曲）機能停止



# 令和元年10月東日本台風・Goolightの対応

## ◆10月12日（土）

12:00 ◆地域情報チャンネルで放送開始（文字情報＋河川ライブカメラ）

15:00 須坂市の一部地域に避難準備・高齢者等避難開始を発令

15:00 災害対策本部設置【須坂市】

16:00 災害対策本部設置【小布施町】

17:00 **★避難所（墨坂中・井上小・相森中）に災害情報端末によるTV設置**

18:00 幹部社員、メディア推進本部スタッフ 緊急配備

18:10 大雨特別警報発表【須坂市・小布施町】

21:10 **◆中継 須坂市災害対策本部**

22:15 **◆中継 須坂市災害対策本部**

23:45 須坂市の一部地域に避難指示発令

★Facebookを活用した情報発信 ⇒毎日対応





# 令和元年10月東日本台風・Goolightの対応

## ◆10月13日（日）

0:05 氾濫警戒レベル5【須坂市】

1:42 須坂市北相之島町で千曲川越水

2:04 小布施町で千曲川越水

**★国交省千曲川河川カメラの光回線が切断により停止**

5:30 長野市穂保で千曲川の堤防決壊を確認

7:54 下水道終末処理場（クリーンピア千曲）機能停止

11:00 **◆地域情報チャンネルで千曲川の氾濫情報など  
最新情報を文字ニュースと映像で放送**

14:00 **◆中継 須坂市長緊急会見**

19:00 **◆台風災害特別番組放送**





# 令和元年10月東日本台風・Goolightの対応

## ◆10月14日（月）

---

11:00 地域情報チャンネル情報更新 ⇒20日まで毎日対応

14:00 災害廃棄物受け入れ開始

18:00 【生放送】台風災害特別番組放送 ⇒20日まで毎日対応

**★避難所（須坂市北部体育館）に災害情報端末によるTVと無料WiFi設置**

## ◆10月15日（火）

---

9:00 須坂市ボランティアセンター開設

## ◆10月16日（水）

---

9:00 小布施町ボランティアセンター開設

11:00 小布施橋通行止め解除

## ◆10月17日（木）

---

**★被災者向けにコインランドリーの無料チケット配布を市に要請**

## ◆10月18日（金）

---

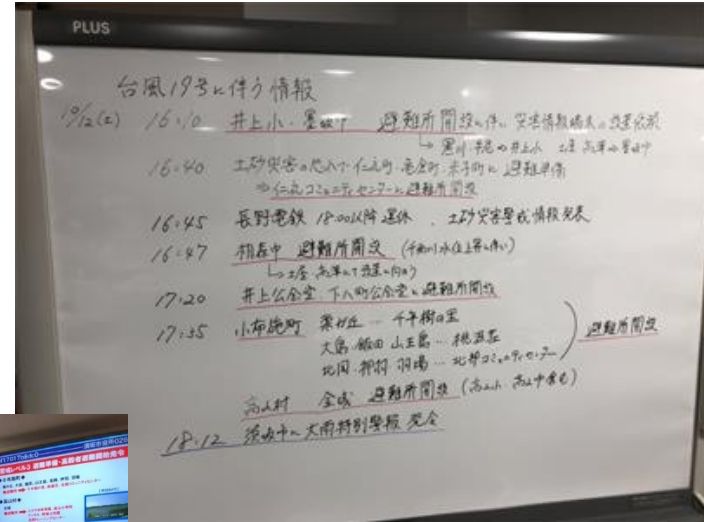
**★避難所（旭ヶ丘ふれあいプラザ）に災害情報端末によるTVと無料WiFi設置**

# Goolightの報道対応

## 12日 18:00 幹部社員・報道制作社員 緊急出勤



今後の対応についてミーティング



ホワイトボードで情報整理



# Goolightの報道対応

12日 21:00 災害対策本部から緊急生中継



災害対策本部から緊急レポート



ライブカメラと文字情報





# Facebookでの情報発信



集約した情報は放送だけでなく、SNSやホームページなど  
様々な媒体を通じ広く発信した

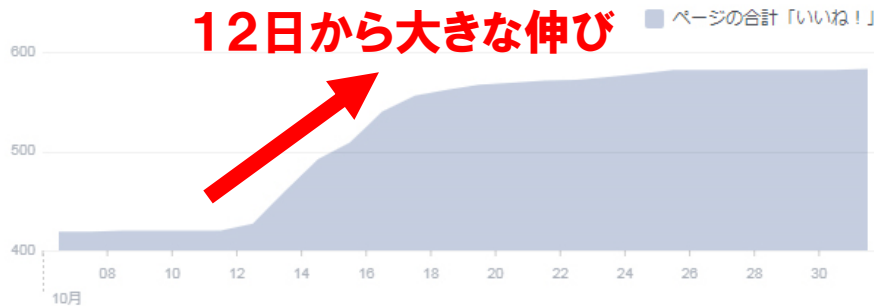


# Facebookのアクセスデータ

## いいね！数の推移

いいね！数: 583

投稿を作成



ベンチマーク  
平均パフォーマンスの推移を見ることができます。

ページの合計「いいね！」

## リーチ数の推移

最低1回はあなたの投稿を見た人の数です。この指標は推定値です。

投稿を作成



ベンチマーク  
平均パフォーマンスの推移を見ることができます。

オーガニック  
有料

# 今後の課題

- ①国交省河川カメラ等との連携強化 定点カメラの増強
- ②ハザードマップ上にある危険災害エリアへの定点カメラの設置
- ③市町村災害応援協定の見直し  
⇒各局と市町村とのおさなり(形だけ)の協定を見直す
- ④大規模災害時での報道使命について  
⇒CATV社員の訓練強化 全国一元化の取組み
- ⑤地上波・NHKとの連携 ⇒リレー中継などの実施
- ⑥情報伝達の取組みについて（重層的な情報伝達が必要）
  - ・SNSは一定の効果あり
  - ・防災同報無線等による拡声器でのよびかけはほとんど効果なし
  - ・高齢者にはラジオやテレビが情報伝達の重要なデバイス
  - ・今回は火の見櫓の半鐘で避難した住民もいた

有線・無線、放送・通信問わず災害時での情報提供の有無が地域の公共放送としてのCATVの大きな役割となる！





**お聞きいただきまして  
ありがとうございました**

須坂市役所 総務課  
〒382-8511 長野県須坂市大字須坂1528番地の1  
電話:026-248-9000(課専用)  
FAX:026-246-0750  
e-mail: [soumu@city.suzaka.nagano.jp](mailto:soumu@city.suzaka.nagano.jp)

## ■ポイント

- ・令和元年東日本台風（台風19号）及び新型コロナウイルスを踏まえた提案  
（長野県須坂市は被災地。破堤した長野市千曲川穂保地区堤防の向かい側）
  - ・CATVの機能強化は、地方創生に多大な効果…防災、産業、教育、環境、文化、観光等
  - ・住民と顔が見える関係であるので、Goolightと住民はいい緊張関係がある。  
誠実な報道、経営であるので、住民に信頼感がある。
  - ・全国各地の災害に対する国土強靱化に対する ①CATVの役割増加とインフラ整備、②住民に対する災害情報の事前提供、災害時提供、災害後提供
  - ・ローカル5Gを踏まえたCATVのインフラ整備は、経済的効果も大
  - ・個別情報端末設置への支援 CATVの自動起動システムの開発と導入（プッシュ型）
- 1 放送インフラの耐災害性強化（CATVの特性を踏まえて）
- ・市町村単位の細かいメッシュでの地域密着の防災が不可欠。地域課題解決としてのCATVの役割増加。
  - ・FTTH化→Goolightでは高速インフラの基盤整備として2018年完了（高山村のみ国支援）
  - ・地域BWA（ブロードバンド・ワイヤレス・アクセス）→須坂市は2018年から3年計画で整備。  
市役所に基地局整備
  - ・ローカル5G（災害及び災害時のオンライン教育（新型コロナウイルスで中国友好都市との差異を実感）にも効果）→国の多面的支援を要望したい。2020年度から対応予定。
  - ・河川監視カメラ、水位等各種センサー機器との連携→国の支援を要望
  - ・国交省河川カメラ増設・高画質化（千曲川流域。令和元年東日本台風被災を受けて増設見込み）  
→国の支援を要望
  - ・防災アプリの開発→Goolightが2020年度に独自開発を検討→アプリの他地域での活用
- 2 情報難民の解消に向けた取組
- ・コミュニティFM→FMぜんこうじ（善光寺平約60万人）との連携（自動起動防災ラジオ等）。  
須坂市同報無線との連携
  - ・災害時でのCATVの自動起動→IDと連携した個人を特定した避難喚起などのシステム開発、低廉化機器の開発、（参考）「総務大臣メール」（第2号）について（令和2年1月22日 総務大臣）
  - ・市全体に災害情報を届けるためには、CATVに加入していない、共同アンテナでテレビを見ている共聴組合等への対応が課題。須坂市ではCATVによる巻き取りを実施。全国的にも課題ではないかと推察。
- 3 地域における関係者の連携強化
- ・グーライトへの地域の信頼性の高さが、情報効果を高める
  - ・地域密着型・総合型情報発信メディア（行政、コミュニティFMラジオ、SNS等）
  - ・2007年に締結した「災害支援協定」をベースに発生時の役割分担の明確化
  - ・グーライトは、2009年須坂市内小中学校15校の指定避難所への放送通信回線と端末機器を設置  
（令和元年東日本台風発生時には、避難所にテレビとWi-Fi設置）
  - ・月1回の相互訓練の徹底→災害時の備えとして。市役所、警察署、消防団の打合せ時への参加検討
  - ・須坂市総合防災訓練の生中継→市民啓発と周知。担当者の検証資料
  - ・須坂市は全国市町村でオープンデータ日本一 <http://citydata.jp/> の活用（遠藤守名古屋大学准教授。須坂市出身。2017年～地域情報化アドバイザー。2015年～2016年ICT地域マネージャー指導。  
総務省にも感謝）
  - ・公益財団法人通信文化協会が主催する第65回「前島密賞」をGoolight丸山康熙代表取締役社長が受賞